

思いを繋ぐ

八重瀬町立白川小学校 六年
我如古 友南

ゴオー ゴオー

空から降る黒い雨

思い出したくもない

あの戦争の悲惨な光景

戦争さえなければ 幸せだったはずなのに

何の罪もない人々が目の前で死んで行く

何も出来ず 自分が逃げる事に必死で

助けている時間なんてなかった

かけがえのない命

見捨ててしまった

自分だけ助かった罪悪感

生き残った悲しみ

悲惨で残酷な戦争を

祖父は いつまでも忘れる事が出来ない

人の欲望によって生まれてしまった戦争

人々の心は荒れ果て 疲れ

未来への希望を失くした

あの時戦争で死んでいればよかった

誰もがそう思ったはずだ

戦争が終わっても 生き延びた人々は

必死に生きた

まるで 地獄の中をさまようように

家族を失い 家を失い

これから どうやって

生きていけばいいのか 迷い戸惑いながら

何十年の間 心に鍵をかけた

決して語ってはいけな

と 語ることで 無残なあの出来事を

思い出したくない

生きていることへの罪の認識

でも語らなければ

戦争を知らない子や孫達に伝えなければ

どんなことがあっても 戦争はいけな

いと思

い出すつらさより 戦争をしらないほうがもっとつらい

だから勇気を出して

お前たちにこれから語るよ

「じっくり、聞いて心にとめておくんだ」

「戦争が残した大きな傷跡を何年経っても消

えることが無い事を」

こんな残酷な戦争をしてはいけな

い 世界のみんな

で語ろうよ 私は約束したよ おじいちゃんと

みんなも約束しようよ

二度と醜い争いはしないと

そう決意しながら

私は摩文仁を今年も訪れた

祖父の想いを繋ぐために